

様式 4

令和 6 年 9 月 1 6 日

始良市議会議長 様

会 派 名 市政クラブ始輝
代表者氏名 桃木野 幸一

政務活動報告書

【調査・研修・陳情等】

次のとおり実施しましたので報告します。

活動期間	令和 6 年 8 月 2 3 日～令和 6 年 8 月 2 5 日（2 泊 3 日）		
活動場所	大分県（大分市、臼杵市）		
目 的	「第 1 6 回全国政策研究集会 2 0 2 4 I N 大分」へ参加し、人口減少が地方自治に与える影響を考察し、本市への政策立案に役立てるため。		
使 途 項 目	調査研究費	経路内訳と金額	様式 3、様式 5 のとおり
所 見	（基調講演 1）人口減少が及ぼす影響と自治体議員の役割 （基調講演 2）誰もが安心して暮らしていける地域社会とは （パネルディスカッション） 基調講演の講話者をパネリストに、人口が減少しても安心して暮らせるこれからの地域社会についての意見交換でした。地方だからできることも多々あることを感じました。 （詳細は別紙にて） （分科会 1）水俣病から PFAS 報告者：宇都陽一郎（別紙にて） （分科会 2）孤独、孤立からの脱却 報告者：湯元秀誠（別紙にて） （分科会 3）ユース・セッション「私の生きたい未来」 報告者：桃木野幸一（別紙にて） （分科会 4）食育とそれを支える生産者 報告者：和田里志（別紙にて） （臼杵市学校給食センター） 供用開始して 2 0 年を超える学校給食センターの現状を伺ういい機会になりました。また、臼杵市は、「ユネスコ食文化創造都		

旅費計算書〔実績〕

会派名又は議員名（市政クラブ始輝）

内 訳	航空賃	円	
	鉄道賃	円	
	バス賃等	円	
	車 賃	25,300 円	トヨタレンタカー (保険料 2,750 円除く)
	宿泊料	95,920 円	2 泊×4 人分
	参加費	60,000 円	40,000 円 大会登録料 (4 人分) 20,000 円 学校給食センター視察 (4 人分)
	交通費	18,748 円	12,280 円 高速道路料金 4,868 円 ガソリン代 1,600 円 駐車場代 (2 日分)
	その他	円	
合計額		199,968 円	

[illegible]

政務活動報告書

会 派 市政クラブ始輝

報告者 桃木野 幸一

下記のとおり報告します。

「期日」 令和 6 年 8 月 24 日（土）

「場所」 大分・コンパルホール

「テーマ」 私の行きたい未来

「考察」 分科会でグループ討議をして意見交換した。立命館アジア太平洋大学の学生 2 人も参加して若者が定着出来るまちづくりについて意見を出し合った。

・東京へ一極集中の是正はうまくいかず地方へ人を呼び込む流れはつくれなかった。

・国が地方自治体に計画を作らせ、交付金を配る手法は限界があり、結局地方自治体が移住者を奪い合う展開となっている。

・人口減少社会の課題はいろいろあり、残った人達がいかに活性化したまちづくりを作るかということである。

・地域の活性化には若者の定住が課題であり、企業誘致や魅力あるまちづくりには若者の意見を聞くことつまり役所に「何でも相談窓口」を設置する事が必要ではないかという結論になった。

令和6年9月16日

会 派 市政クラブ始輝
報告者 宇都 陽一郎

政 務 活 動 報 告 書

下記のとおり報告致します。

【期 日】令和6年8月24日（土）

【場 所】臼杵市学校給食センター

【考 察】 供用開始し、20年以上経過している施設が果たして、現在どのように運用されているかを施設面と運営面と考察する。

- （施設面）・ドライ方式を採用されていたが、調理室内は綺麗にされていた。また、古さは感じなかった。
- ・特殊な調理器具は、夏休みを利用して、部品交換しながらだましだまし使用しているものもある。
 - ・モデルチェンジされ、寸法が大きくなっていて、入れ替え時に配列が変わるケースもあった。
 - ・大型の厨房器具を入れ替える際、搬入ルートがなくて、他の厨房器具を動かしながら作業するケースもあった。
 - ・1日の給食数が減り、2施設あったものを1施設に集約した。
 - ・給食が提供できなくなるような事態はなかった。
 - ・天井が高く、電球交換が大変で、費用もかかる。

- （運営面）・現在は、調理業務のみを業務委託している。施設管理や職員は市職員で対応している。
- ・配送は、シルバー人材センターに委託している。
 - ・給食に関心を持ってもらえるよう配送車に、子供たちが描いた絵をラッピングして走行している。
 - ・毎日の給食を保護者に、写真で配信している。
 - ・地元の食材や商材を取り扱うようにしている。
 - ・有機野菜や有機米を提供できるよう取り組んでいる。
 - ・食育の一環として、農業体験も行っている。

(有機野菜への取り組み)

学校給食へ提供してもらうための有機野菜を生産する農家を市として支援している。取り組みとしては素晴らしいことだが、簡単ではないことが理解できた。それは、天候に左右されること、大きさを揃えること、個数を確保することが最も難しいようだ。また、大きさや形がバラバラなものが多く、下処理が大変となり、調理員を数名増員しており、人件費が増加することとなっている。

他には、完全買い取りでなく、献立に合わせて納品することが生育や天候にもより難しく、辞めていく農家もある。

有機米にしても、子供たちにアンケートを取ると、「あまりよくわからない」や「パンの回数を増やしてほしい」という大人の思いと異なる結果のようだ。

【所 感】 始良市は、これから学校給食センターを開設していく。会派としては、昨年開設して数年の学校給食センターを訪問した。そこでは、開設して良かった点をたくさん知ることができた。そして、今回開設して20年上経過している学校給食センターを訪問して、年数とともに出てくる問題点を知ることができた。今回知りえた問題点は、これから建設していく施設にも反映してもらえるよう提案したい。また、運営に関しても、10年後や20年後の状況に対応できるように想定していくことも必要ではないかと思うことができた。比較対照することができ、良い視察だった。

令和6年9月16日

会 派 市政クラブ始輝
報告者 宇都 陽一郎

政 務 活 動 報 告 書

下記のとおり報告致します。

【期 日】令和6年8月23日（金）

【場 所】大分市コンパルホール

【分科会1】テーマ：水俣病からPFAS

講話者：水俣病患者連合事務局長

水俣病がどのように始まり、どのように水俣病患者が苦しんできたか、そして、今だ苦しんでいる人が居ることまで一連の流れの講話だった。私自身も多くの参加者もう終わっていると思っていた。そうでないことを聞いて、先日の環境省との懇談会でマイクの音を切ったことは水俣病患者の方々には、相当なショックなことだったと胸が痛かった。

そして、二度とこのような公害病を出さないためにも、今でも活動している水俣病患者連合会の存在を知ってもらうことと水俣病問題はまだ終わっていないということを多くの方々にも知ってもらうべきと感じた。

後半は、この水俣病のことを踏まえて、「PFAS」の話へ移った。

「PFAS」とは、有機フッ素化合物の総称で、主に飲み水から体内へ摂取されることが多い。発がん性やホルモン不調など人体への影響も大きい。こちらは水俣病のような工場からの排水だけではなく、有機フッ素化合物から製品化されたプラスチック類や洗剤、カーペットなど我々が生活で使用していたものを業者が回収し、野積みにしたままにし、土壌から河川へ流れ込み、飲み水から体内へ入ることになる。全国どこで起きてもおかしくない現代の公害病と感じた。定期的な水質検査で未然に防いで欲しいと思う。

【所 感】 鹿児島県に隣接する水俣市だけに授業で習った時は、他人ごとではないと思っていた。それから月日経ち、公害問題としてはもう終わっているかに記憶も薄れていた。そんな中での今回の講演は、まだ終わっておらず立ち向かっている方々が居ることを知った。そして、先日の環境省との懇談会での対応への怒りを感じた。しかしながら、水俣病はもう終わった公害問題と思っていた私を含めた国民も政府側と同じだと反省するところだ。まだまだ水俣病で苦しんでいる方々が居ることを伝えていく手伝いができればと思った。

そして、「PFAS」は現代の何処でも起きうる公害だ。山奥で野積みされていないか監視することと定期的な水質検査をすることで命の源である「水」を守って欲しいと感じた。本市においても、中山間地で野積みしていないかのパトロールと水源地と上水道場での定期的な水質検査を実施しているか確認したい。

政務活動費における活動報告書

出張地 第16回全国政策研究集会 in 大分 大分コンパルホール
日 時 8月23日(金) 12時50分～17時40分 交流会
24日(土) 9時30分～11時45分 現地視察

24日 分科会4 「食育とそれを支える生産者」 ～生きる力を育む食～
講師 竹田市役所 保険健康課 管理栄養士 堀田 貴子
(管理栄養士、大分県食育コーディネーター、食育ネット・たけた食研究会メンバー)

参加報告

主な講演内容 「食育とそれを支える生産者」 ～生きる力を育む食～

竹田市の概況

平成17年4月1日、旧竹田市・荻町・久住町・直入町が合併
人口 19,137人(R6.3現在) 世帯 9,878世帯 高齢化率 49.7%(R5年度)
平均寿命 男性 81.28歳 女性 87.75歳
の特徴 星に手が届く町・久住 名曲「荒城の月」・竹田
西日本一のトマトの里・荻 日本一の炭酸泉・直入

食育に魅せられた理由

1歳から包丁を持ち、初めて作った卵焼きや学校の「弁当の日」体験に感動。
多くの人との出会いとチャレンジ・溢れる慈しみと地域愛
県職員(獣医師)「食育ネット」の発起人やお味噌づくりで出会った加工所の女性、久住のおじいちゃん、おばあちゃんたちがたくさんのことを学ばせてくれた

食育の心を地域に広げていく仲間づくり

平成16年1月27日
食育ネット設立 素晴らしい財産＝“郷土の食”を子どもたちに伝えていきたい。
食育は未来への合言葉、そして食育は健康につながる。
竹田市食育推進計画(食でいきいき竹田プラン)“美味しく食べる”元気な人が集まる豊かな竹田”

第4次食育推進基本計画(R3～R.7) 保険健康課の食育事業

具体的な目標値を掲げ毎年検討

地方創生事業(H28～H31)

竹田食育“地域の宝”プロジェクト、日本一ブランド戦略プロジェクト
～新商品開発によるたけた食材のPRと健康効果の検証～
郷土の宝・郷土料理の継承

持続可能な職への取組み SDGs

有機農業の推進＝竹田市わかば公社との連携

竹田市の学校給食

学校給食＝生きた教材

オーガニック給食への道のり、生きること＝たべること

日本の伝統食のすばらしさ、～大切なものは足下にある～

生きる力を育む家庭での食育

伝統食＝お味噌汁で心と身体を整える

未来のために

地域の協働がカギ！ 食を通して未来の力を育む

《 所見と考察 》

食育をテーマに行政や食育を支える生産者の連携、有機農業の推進や学校給食への対応など様々な角度からそれらの取り組みについて講演をしていただいた。具体的な事例に基づき、有機野菜の地産地消や持続可能な食への取り組みなどわかりやすく参考になった。

「食育ネット」の設立をきっかけに、市が中心となって食育推進計画を立て、地方創生事業として取り組んだ実績は大いに評価できる。

またその後も保険健康課が中心となり、SDGs の観点から食育推進基本計画と具体的な目標値を掲げ、持続可能な様々な食への取り組みを行っていることは、先進事例として参考になった。

いずれの事例も、しっかりした目的と意思を持った指導者・ネットワーク（人材や団体、係）があり、それに行政が側面から協力していると思われる。

本市においても、有機農業の促進や6次産業化の促進など、様々な角度から取り組んできてはいるが、もう少し持続可能な取り組みの促進が必要と思われる。関係部署に報告し、取り組みの活性化につなげていきたい。

第 16 回全国政策研究集会 2024in 大分

日時：令和 6 年 8 月 23 日（金）～ 8 月 24 日（土）

場所：大分市 コンパルホール

テーマ：地方自治を手放さない ー人口減少社会の民主主義

【基調講演-1】

「人口減少社会における地方自治のあり方」

徳田靖之氏 （弁護士）

～人口減少はマイナス要因に心配する必要なし～

人口減少社会という現実をどのように受け止めるべきか

- ・「人口減少」をマイナスと受け止めてしまうことの問題性
- ・移住政策や観光客誘致に問題が至少化される危険性
- ・人口減少社会は構成する一人一人の存在が、以前よりも増して重視される社会を意味するのではないか

人口減少社会を考える際に、どの程度の規範の地域社会を想定するのかによって、問題の所在も解決のために必要とされる課題も違ってくるのではないか

- ・移住や観光客誘致等を想定し難い地域に焦点をあてて考える必要がある
- ・地域のあり方を見直すことの必要性・・・一人一人が本当の意味で大切にされる地域をどうやって作っていくか
- ・障がいのある人、高齢者中心の地域づくりという課題

障がいのある人、ない人も誰もが暮らしやすいまち作り条例への取り組みの概要と意味

- ・障がいのある方と大分県条例、別府市条例の作りに参加した
- ・生の声を受けて条例づくりを行った
- ・県条例が社会の現状に合致しているか

条例制定後の取り組み

- ・防災の別府モデル・・・だれ一人取り残さない障がいのある人への対応
- ・個別避難計画・・・対象者の実態が明らかになった・・・全国へ広げるべきである
- ・JR 駅の無人化・・・障がいのある人の駅利用の制約や都市への集中

住民主体の条例作り、条例を現実に合わせて真の意味での「まちづくり」につながるのではないかな。

【基調講演-2】

「人口減少が及ぼす影響と自治体議員の役割」

前田隆夫氏（西日本新聞論説委員）

2024年6月 改正地方自治法が成立

- ・非常時（国民の生命等の保護のために特に必要な場合）国が自治体に必要な対応を指示できる。自治体は拒むことはできない
- ・三位一体改革後の地財ショック・・・平成の合併が加速
- ・市役所や役場職員削減と業務過多
- ・分権の成果を活かせなかった自治体

人口減少と自治体政策・・・地方創生の失敗

- ・東京一極集中の是正は空振り、コロナ後は一極集中が再加速
- ・共食いする自治体・・・移住者の奪い合い ・サービス競争・税収を奪い合うふるさと納税

人口減少をめぐって

- ・人口減少は避けられない現実・・・2050年の人口が2020年より減る市町村は95.5%
- ・人口減少は課題か？・・・人口減少は課題ではない
- ・人口減少がもたらす困り事・・・その対策が「課題」
- ・人口が減っても豊かに暮らせる発想へ転換する

課題は多種多様

- ・議会は本領を発揮しているか 住民自治は機能しているか
- ・住民と対話できる議会に

多様化する議会活動への住民参加の手段

- ・議会報告会・・・住民との意見交換会、ワークショップ
- ・参考人、請願提出者として公式の場で発言
- ・議会モニター
- ・議会版総合計画の策定に委員として参加・・・住民の希望をウォッチしていく

議会は「一歩通行」から「双方向」へ・・・進化形

- ・モニター・サポーター（議会に改善点を提案）
- ・請願・陳情の尊重（提出者が議会で説明）
- ・フリースピーチ（議場で市民が発言できる）
- ・意見交換会（参加者発言を議会活動に反映）
- ・中高生・大学生の参画（政策提案）

【パネルディスカッション】

テーマ：「人口減少の中、地域をどのように豊にしていくか」

コーディネーター：上原公子氏（自治体議員政策情報センター長、元国立市長）

パネラー：徳田靖之氏 前田隆夫氏 福島浩彦氏（元我孫子市長）

人口減少

- ・ 2005年の第2次ベビーブーム出生数は107万人であった。
- ・ 2022年は77万人の出生数で第3次ベビーブームは起こらなかった
- ・ 今人口対策を行っても人口減に変化はない
- ・ 移住者に金を使うより人口4万人から3万人になる人々に金を使う方が良い
- ・ 公共施設は各自治体で設けることより周辺自治体や民間施設と共有化するべきである。
- ・ 国から指示、支援して貰い地方の自治は自ら決めて責任を持つ

人口減少は大きなチャンス

- ・ 都市部では難民状態の地域が増えている
- ・ 当事者能力を高めることは地域力向上につながる
- ・ 子供のころから地域づくりに参加させることでやがては帰ってくる
- ・ 若者定住対策では、人がいないから仕事がない、成り立たないのが正しい
- ・ 仕事が魅力になっているか・・・自分たちで起業するなど可能性を求める
- ・ 九州からの転出は女性が多い・・・給料の高い東京へ
- ・ 若者の意見では「自分たちを育て生かしてくれる地域や企業がない」と言う

教育の現場

- ・ 障がいのある人の学習について文科省の方針が曖昧
- ・ 人権差別について現場の先生方は負担感を持っている
- ・ 人権を尊重する、大切にすることより学校管理者は事なかれ主義の傾向がある
- ・ 障害のある人達が通う学校の支援体制を充実して欲しい
- ・ 奨学金制度で文科省はテストなし、学年なしで認可しているが県教育委員会は指導要綱に沿って書類づくりを行い簡単に認可しない

行政と議会

- ・ 市町村の職員が減っている～議員の役割は人口減少社会の提言をすべき
- ・ 災害の機能が失われる～行政に頼らない人と人のつながりが重要
- ・ 高度成長期では議員の声の大きさに代弁し要求していたが今は必要ない
- ・ ネット時代ではその役割を市民の利益のため、同志で合意し行政を動かすことのできるのは議会である

【分科会 2】

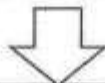
テーマ：孤独、孤立からの脱却 ～ 希望のまちプロジェクト

奥田知志氏 (NPO 法人 抱僕理事長 東八幡キリスト教会牧師)

【抱僕（ほうぼく）とは「ひとりにしない」という支援】

- ・ 老子の言葉「素を見し僕を抱き」
- ・ 僕＝原木/荒木のまま抱く
- ・ 原木/荒木は無限の可能性を持つ
- ・ 荒木ゆえに傷つく＝絆は傷を含む
- ・ 以前の北九州八幡は炭鉱の町の、繁栄からホームレスの多いまちにへ陥落
- ・ 1990 年ホームレス襲撃事件発生（帰るところがない。誰からも心配されていない）
- ・ 経済的困窮（ハウスレス）、社会的孤立（ホームレス）が増えた

- ・ 様々な社会保証制度は、申請主義である故に困っていても相談に来ない
- ・ 自分のやばいと言う自己認識がなく、他者との付き合いなく孤立状態である
- ・ 相談に来ない・・・絶望している。崖っぷちに立っているケースがある



- ・ 「孤独を感じる」と答えた日本の子供の割合は先進国で 1 位 29.8%
- ・ 社会的孤立の調査で、日本は家族以外の人と「友人、同僚、その他の人」との交流が「全くない」あるいは「ほとんどとない」と回答した人の割合が 15.3%と米国の 3.1%のなんと 5 倍である
- ・ 米国は金はないが友達に居る。 ・ 日本は金もないが友達もいない
- ・ 子どもの自殺は先進国で日本は 1 位～子どもの自殺要因の 6 割不明～何故助けてと言えないのか・・・自己責任論者会～助けてと言え日常が必要
- ・ 孤独の健康被害に肥満＝英国比較では日本は 2 倍、孤立率 3 倍…30 兆円の国家損失

【抱僕の活動】

- ・ 35 年の活動・・・抱僕の活動は 1988 年から行っている
- ・ 3,716 人・・・抱僕の活動によってホームレス状態から自立した人数
- ・ 1,076 人・・・現在も継続してサポートしている人数
- ・ 1,923 人・・・ボランティアとして登録している人数
- ・ 151,026 食・・・炊き出しで配った弁当の数
- ・ 147,433 件・・・路上生活者らからの相談の数
- ・ 11 件・・・厚生労働省等省庁の政策立案や審議会に参加した件数
- ・ 27 事業・・・子どもから大人まで包括的な支援活動

【工藤會の影響】

- ・日本で唯一の特定危険指定暴力団、工藤會は北九州市のイメージや経済への影響は極めて大きい。
- ・刑法犯認知数 40,389 人から 87%減の 5,452 人に激減した
- ・自立支援―「社会復帰」しかし復帰したい社会か？―まちづくりへ

【希望のまち三つの目的】

① 助けてと言えるまち

- ・2022 年 514 人過去最悪の自殺者 大人の要因はわかるが子どもの要因は不明
- ・不登校調査：「家庭不和」12.3% 「父母からのしっせき」9.0%進「進路問題」8.4% 「いじめ」2.7%・・・最多は「不明」58.4%
- ・なぜ「助けて」と言えない？―「他人に迷惑をかけてはいけない」―背景に大人社会の実相―「自己責任」
- ・「助けて！」希望のまちのキーワード→自尊感情と自己有用感（存在感）

② まちを大きな家族に⇒家族機能の社会化

年次	第 1 位	第 2 位	第 3 位
1980 年（昭和 55 年） 家族の風景 6 割以上	夫婦と子ども 42%	3 世帯同居 20%	単身世帯 20%

年次	第 1 位	第 2 位	第 3 位
2020 年（40 年後） 単身増加・家族不在の増加	単身世帯 38%	夫婦と子ども 25%	3 世帯同居 7%

・地域互助会

- ① 誰でも入会可能年会費 6,000 円（月学 500 円）
- ② 会員数 270 名
- ③ 世話人 20 名 見守り活動（定期訪問）
- ④ 年間行事 バス旅行、花見、新年会、誕生会
- ⑤ サロン 卓球（毎週）カラオケ（毎週）かふえ（毎週）
- ⑥ 看取りと葬儀 互助会葬と偲ぶ会（追悼集会）⇒ 大家の安心へ
・・・ 赤の他人が葬儀を出し合う社会・・・入居拒否がなくなった

③ まちが子どもを育てる―相続の社会化

- ・子どもの貧困→11.5% 9 人に 1 人＝家族の貧困
- ・2013 年「子ども家族丸ごとプロジェクト訪問型学習支援」・・・相続の社会化
- ・高校進学支援事業、大学・専門学校進学支援事業

まとめ

今回、初めて全国政策研究集会に参加させていただいたが、2 日間のスケジュールが綿密に計画されており、今の社会問題とする人口減少などテーマも多岐にわたり充実した内容であった。

基調講演された二人の講師の方には、貴重なご教示を戴いた内容であり、始良市では人口減少問題は都市化が進む市街地と、私が暮らす中山間地域とでは問題意識が大きく異なることを確認できた。

今、集落編成の協議を行っている最中であり、予想されていたとは言え、急激な地域の人口減少に、どう対処するか喫緊の課題である。

人口減少は課題ではない・・・人口減少がもたらす困り事・・・その対策が「課題」であり、人口が減っても豊かに暮らせる発想へ転換することの提言を戴いた。

地域の方々と十分に議論を深めようとする。

奥田知志氏の「抱僕」の取り組みには感動した。北九州市のまちで様々な負の社会現状の課題を、地域や住民を抱き込みながら、辛抱強く「ひとりにしない」という 27 の支援事業の実績を積み上げられ成果をあげられている。

さらに、「子ども家族まるごと支援センター（仮）」の拠点づくりの計画を進めておられる。

国の様々な保障制度に依存する社会ではなく、「ちょつと助けて」と言えて、「私で出来ることでよければ」と答えられる、そんなまちを創る新たな挑戦だと顧問の村木厚子さんは応援メッセージを送っておられる。

様式 6

領収書貼付台紙

全国政策研究集会 2024 in 大分
領 収 証

市政クラブ 始輝 様

10,000 円

但し 政策研究集会参加費として
2024 年 8 月 23 日

全国政策研究集会 2024 in 大分 実行委員会
〒 700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル 2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

全国政策研究集会 2024 in 大分
領 収 証

市政クラブ 始輝 様

10,000 円

但し 政策研究集会参加費として
2024 年 8 月 23 日

全国政策研究集会 2024 in 大分 実行委員会
〒 700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル 2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

全国政策研究集会 2024 in 大分
領 収 証

市政クラブ 始輝 様

10,000 円

但し 政策研究集会参加費として
2024 年 8 月 23 日

全国政策研究集会 2024 in 大分 実行委員会
〒 700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル 2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

全国政策研究集会 2024 in 大分
領 収 証

市政クラブ 始輝 様

10,000 円

但し 政策研究集会参加費として
2024 年 8 月 23 日

全国政策研究集会 2024 in 大分 実行委員会
〒 700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル 2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

登録料 (4 人分)

全国政策研究集会 2024 in 大分

領 収 書

市政クラブ 始輝 様

¥ 5,000 -

全国政策研究集会 2024 in 大分

領 収 書

市政クラブ 始輝 様

¥ 5,000 -

全国政策研究集会 2024 in 大分

領 収 書

市政クラブ 始輝 様

¥ 5,000 -

全国政策研究集会 2024 in 大分

領 収 書

市政クラブ 始輝 様

¥ 5,000 -

但し、オプションツアー参加費として

2024年8月23日

全国政策研究集会 2024in おおいた実行委員会 委員長 玉田 輝義

〒870-0022 大分県大分市大手町3-1-1 Tel 097-506-5088

臼杵市学校給食センター視察(4人分)

領収書貼付台紙

※重ならないように貼付すること。

※レシート（感熱紙）の場合はコピーも貼付すること。

No.0722
利用明細書

2024年 8月23日 12:35
入口料金所 加治木
出口料金所 大分
車種 普通車
通行料金 ¥7710円
合計 ¥7710円

No.0722
利用明細書

2024年 8月23日 12:35
入口料金所 加治木
出口料金所 大分
車種 普通車
通行料金 ¥7710円
合計 ¥7710円

No.0723
利用明細書

2024年 8月25日 10:35
入口料金所 大分光吉第二
出口料金所 佐伯
車種 普通車
通行料金 ¥940円
合計 ¥940円

No.0723
利用明細書

2024年 8月25日 10:35
入口料金所 大分光吉第二
出口料金所 佐伯
車種 普通車
通行料金 ¥940円
合計 ¥940円

No.0724
利用明細書

2024年 8月25日 15:07
入口料金所 門川本線
出口料金所 加治木
車種 普通車
通行料金 ¥3630円
合計 ¥3630円

No.0724
利用明細書

2024年 8月25日 15:07
入口料金所 門川本線
出口料金所 加治木
車種 普通車
通行料金 ¥3630円
合計 ¥3630円

高速道路利用料金

様式 6

領収書貼付台紙

※重ならないように貼付すること。

※レシート（感熱紙）の場合はコピーも貼付すること。

ENEOS

納品書(領収書)

2024年08月25日 15:28

売上

様 M

6-020258-49996-001

現金フリー

車両番号 実車番

0026-00

レギュラー P01

数量 26.50L

単価 167円 ￥4,425

.....
(消費税10%対象 ￥4,425)

消費税等 ￥443

合計 ￥4,868

約銭 1万:5132 5千:132

有限会社 恒森石油 加治木SS

鹿児島県 始良市

東畑田1-7-33-1

TEL:099-565-2311 -020258

登録番号:T434000201 f58

シートNo 0590-01

テ-5No406-4898

001A

2024/08/25

ENEOS

納品書(領収書)

2024年08月25日 15:28

売上

様 M

6-020258-49996-001

現金フリー

車両番号 実車番

0026-00

レギュラー P01

数量 26.50L

単価 167円 ￥4,425

.....
(消費税10%対象 ￥4,425)

消費税等 ￥443

合計 ￥4,868

約銭 1万:5132 5千:132

有限会社 恒森石油 加治木SS

鹿児島県 始良市

東畑田1-7-33-1

TEL:099-565-2311 -020258

登録番号:T434000201 f58

シートNo 0590-01

テ-5No406-4898

001A

2024/08/25

No: 259900

ご利用明細書

お名前 (Guest Name)

市政クラブ始輝

様

大分センチュリーホテル

〒870-0021 大分市南内町1丁目4番28号
Tel: 097(536)2777(代) Fax: 097(536)2307
http://www.oita-centuryhotel.jp/
登録番号: T8320001000744

お部屋番号 Room No	ご到着日 Arrival	泊数 Nights	ご出発日 Departure	人数 Persons	発行日 Departure	担当 Clerk	頁 Page
716	2024/08/23	2	2024/08/25	1	2024/08/23	リンカーン受	1

日付 Date	お部屋番号 Room No	ご利用明細 Description	単価 Unitprice	数量 Qty	金額 Charges	入金 Payment
08/23	716	駐車料金	800	1	800	
		-小計-			800	
08/24	716	駐車料金	800	1	800	
		-小計-			800	
		消費税 (内税額)			145	
		10%課税対象			1,455	
		10%税			145	
		現金				1,600
ご利用合計 Total					1,600	
ご請求額 Balance						

発行日 (Issue)

2024/08/23

領収書

No: 259900

お名前 (Guest Name)

市政クラブ始輝

様

大分センチュリーホテル

〒870-0021 大分市南内町1丁目4番28号
Tel: 097(536)2777(代) Fax: 097(536)2307
http://www.oita-centuryhotel.jp/

登録番号: T8320001000744

領収額 Receipt
1,600

10%対象額(税込) 1,600 (10%税 145)

収入
印紙

ありがとうございました。
誠に恐縮ながらサービス料としてお勘定の10%及び規定
の税金を加算させていただきます。前払金につきましてはすで
にお渡し済みでございますので再発行いたしかねます。
Thank you! May have the pleasure of serving you again.
A 10% service charge and government tax will be added
to your bill. Copies of the chits are not attached
as guest receives them at every meal and on use of
other facilities.

☐ 振込金受取書 (兼振込手数料受取書)
☒ 振込受付書

当行所定の振込規定を承認した上で振込を依頼します。なお、本依頼書提出後、銀行が同意（承諾）することにより契約が成立するものとします。

該当する方に○表示

送信番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

お振込先		大分										銀行		信金		信組		農協		その他		本店		支店													
お受取人	預金種目	普通		当座		貯蓄		その他		口座番号	[REDACTED]										お振込金額	百億 拾億 億 千万 百万 拾万 万 千 百 拾 円										資金区分		公金		国庫金	
	フリガナ	いいたび										[REDACTED]										495,920															
ご依頼人	おなまえ	いいたび株式会社 様																																			
	フリガナ	シセイコフコアイキ																																			
おとこ	おなまえ	市政リブ始輝 様																																			
	おとこ	〒849-5821 ご連絡先電話番号 (086-833-8656) 株式会社南日本銀行 2366																																			
		振込手数料 (10%対象)										うち消費税										依頼人科目		11: 当座		依頼人口座		12: 普通									
		7,880										/80																									

○振込先銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。
○振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には照会等のために振込が遅延することがあります。
○やむをえない事由による通信機器回線の障害によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。

店番	科目	口座番号
	普通	
	当座	
	通	

◆払戻請求書または小切手を提出しませんので、上記口座から引落とし振込資金へ充当してください。
◆銀行が事前に振込を拒否する場合は銀行所定の日に引き戻してください。

当行をご利用くださいますようお願いございました。

株式会社 南日本銀行

登録番号 T7340001004232

2-051-08 3/3 2023.9 TE





貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書)

Rental Agreement

お客様控

貸渡人

株式会社トヨタレンタリース鹿児島

RA610R

発行年月日: 令和 6年 8月25日

貸渡N: 3571772

電話番号0995-65-0100

(税込)

借 名 称 市政クラブ始輝 和田 様
受 住 所 鹿児島県始良市池島町31-17
人

<お貸しする車両>

貸渡車両 プリウス1.8(-2212 燃料 ハイブリッド)
登録N: 鹿児島 300わ4087

料金クラス C3-K 車両クラス C3-K

<ご利用内容>

	予定貸渡	貸 渡	メーター(Km)
着	8月25日14時00分	8月25日15時33分	110,222
発	8月23日 8時00分	8月23日 8時00分	109,519
利用分	2日 6時間00分	2日 7時間33分	703

料金種別 B3ビジネス料金 料金割引率 0%

添付品 安心Wプラン 1

乗車人数 0名

返却営業店舗始良店 0995-65-0100 返却府県県内

運転者氏名 和田 里志様

項 目	予定料金	精算料金
基本料金	26,400	26,400
カード割引額(0%)	0	0
その他割引額(0%)	0	0
*	0	0
小 計	26,400	26,400
免責補償料	ご加入	ご加入
特別装備料	0	0
添付品料金	1,650	1,650
ワンウェイ料金	0	0
燃料代		0
引取配車料	0	0
	0	0
ご利用額	28,050	28,050
リース無償代車		0
N O C		0
免責実費料		0
お支払額	28,050	28,050
予 約 金	0	0
船 乗 車 券	0	0
当日預り金	28,050	28,050
現金		
預り金合計	28,050	28,050
マイル・ポイント利用	0	0
ご請求金額	0	0

株式会社 トヨタレンタリース鹿児島

登録番号: T1340001003009

今回ご利用額 28,050円
10%対象 28,050円 内消費税 2,550円

TOYOTA Rent a Car

トヨタレンタカー予約センター

0800-7000-111 無料

http://rent.toyota.co.jp

この
請求金内訳

領 収 書

領収書N: 0274982

令和 6年 8月25日

市政クラブ始輝

様

Receipt

領 収 金 額 28,050 円

(税抜金額 25,500円)

現金・小切手 28,050 円
クレジット 0 円
交通系IC 0 円

収入印紙

トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。
ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。
(なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)

営業店舗 始良店
住 所 始良市東餅田1478
電話番号 0995-65-0100

株式会社トヨタレンタリース鹿児島

本社 鹿児島県鹿児島市東開町5番地5

扱者印



Toyota Rent-a-Car is an official rental car partner of Hertz. Should you have any questions regarding this Rental Agreement/Receipt, please do not hesitate to ask the Toyota rental center staff, or contact your home country's Hertz Customer Service Center. Thank you for renting from Toyota and Hertz.